

## 研究する動物園 10：特集論文の趣旨説明

遠藤秀紀<sup>1)\*</sup>，佐々木基樹<sup>2)</sup>，浅川満彦<sup>3)</sup>

1) 東京大学総合研究博物館 〒113-0033 東京都文京区本郷 7-3-1

2) 帯広畜産大学獣医学研究部門 〒080-8555 北海道帯広市稲田町西 2 線 11 番地

3) 酪農学園大学獣医学群 〒069-8501 北海道江別市文京台緑町 582 番地

[2019年5月11日受領，2019年6月18日採択]

「研究する動物園 10」は 2016 年 9 月 3 日(日)に，第 23 回日本野生動物医学学会大会(日本獣医生命科学大学)に際し，シンポジウムⅡとして開催された。学会の学術・教育委員会が計画し，動物園における研究の現在と未来を見渡そうという狙いをもつものである。当日以下の 5 演題が発表され，論議された。

1. 「「研究する動物園」これまでとこれから」  
佐々木基樹(帯広畜産大学)
2. 「ひびき動物ワールドで研究する～動物園で学位をとる」  
外平友佳理(到津の森公園)
3. 「動物園の歴史的背景としての学術研究～極東の片隅で何

を継承し，何を興し，そして何を発信すべきか?～」

村田浩一(よこはま動物園ズーラシア，日本大学)

4. 「動物園・水族館における生息域外保全の進め方」  
高見一利(大阪市天王寺動物公園事務所)
5. 「動物園内外の情勢変化と研究の未来」  
遠藤秀紀(東京大学総合研究博物館)

本特集は，演題と当日の論議をもとに，各演者が内容をまとめたものである。今後の動物園の研究における発展，そして，野生動物医学の未来像の高度な構築に寄与することを期待する。

\* 責任著者：遠藤秀紀 (E-mail: hendo@um.u-tokyo.ac.jp)